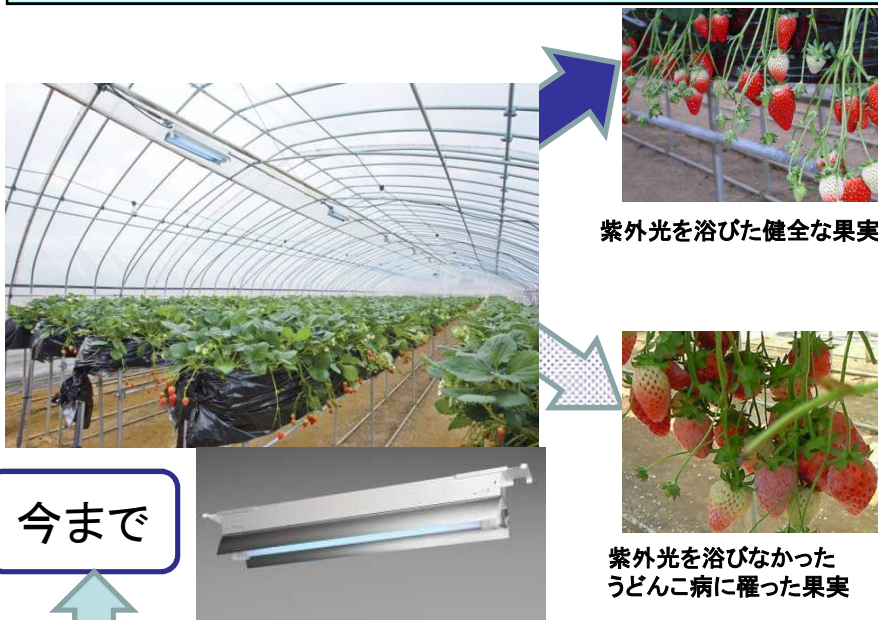


# 新形光源を用いた紫外光照射による病害虫防除研究に着手

【背景・目的・成果】食の安全安心、生産者の農薬散布低減のため、紫外光照射によるイチゴ病害防除技術が確立しましたが、導入コストが高いことから、普及が遅れていました。今回、低コスト電球形蛍光灯(新光源)が開発され、害虫も同時に防除できる可能性が出てきました。そこで、新型光源を用いた病害虫同時防除技術の開発に取り組みます。



紫外光を浴びた健全な果実



紫外光を浴びなかったうどんこ病に罹った果実

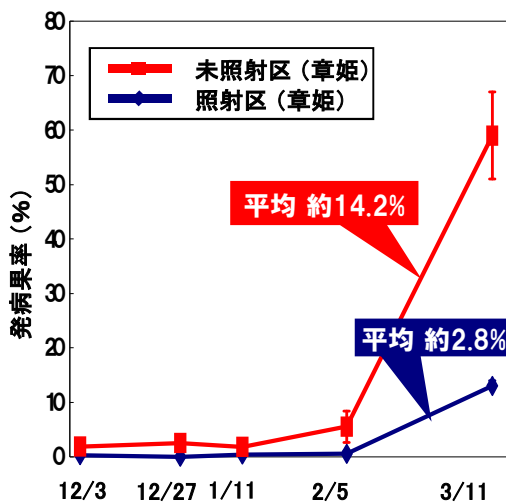


図 ハウス内イチゴうどんこ病の推移 (2007年少→甚発生条件下、品種:章姫)

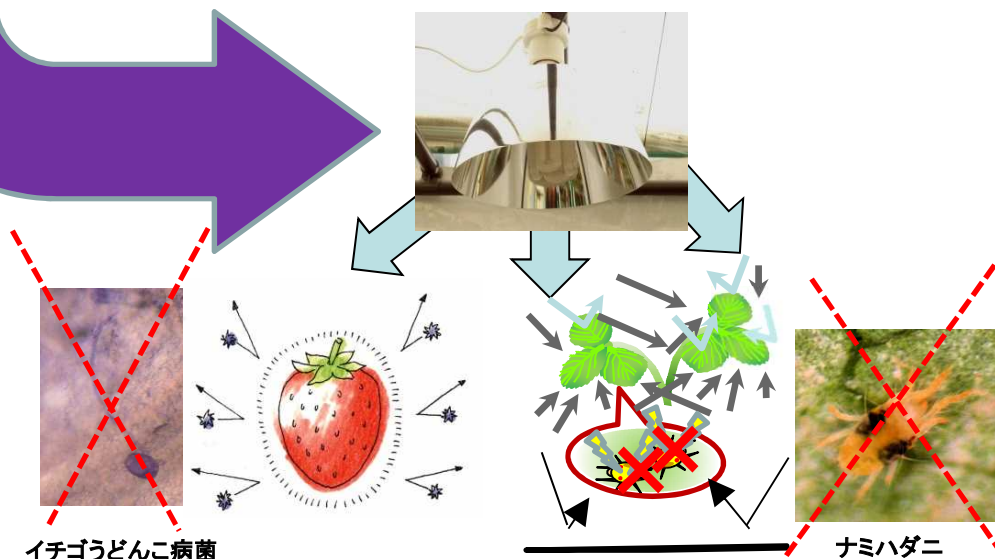
今まで

これから

電球形蛍光灯: 従来品(直管型)の約半分のコスト

病害防除

害虫防除



イチゴうどんこ病菌

ナミハダニ

紫外光により植物が本来持っている免疫機能が向上し、病害の発生を抑える

紫外光を反射シートで乱反射させ、葉裏のハダニの発生を抑える

【技術の活用】今後、データを蓄積して、紫外光によるうどんこ病とハダニの同時防除技術を普及します。